

Randstad Employer Brand Research 2017 country report Japan

参考資料

Employer Brand
Research 2017
powered by  randstad



回答者属性



性別

男性	49%
女性	51%



年齢

18-24歳	13%
25-44 歳	64%
45-64 歳	23%



就業状況

就業者 (正社員/パート/アルバイト/嘱託/派遣など)	73%
自営業/フリーランス	7%
求職中/ 無職	2%
主婦/主夫	13%
学生	4%

教育水準

高等学校卒以下	26%
短大・専門学校卒	26%
大学・大学院卒	47%



地域

北海道	5%
東北地方	5%
関東地方	37%
甲信越地方	6%
中部地方	12%
近畿地方	19%
中国地方	5%
四国地方	2%
九州地方	8%



エンプロイヤーブランド・リサーチ TOP20

日本でいま最も人材をひきつける魅力のある企業20社

2017年 TOP20



2016年 TOP10

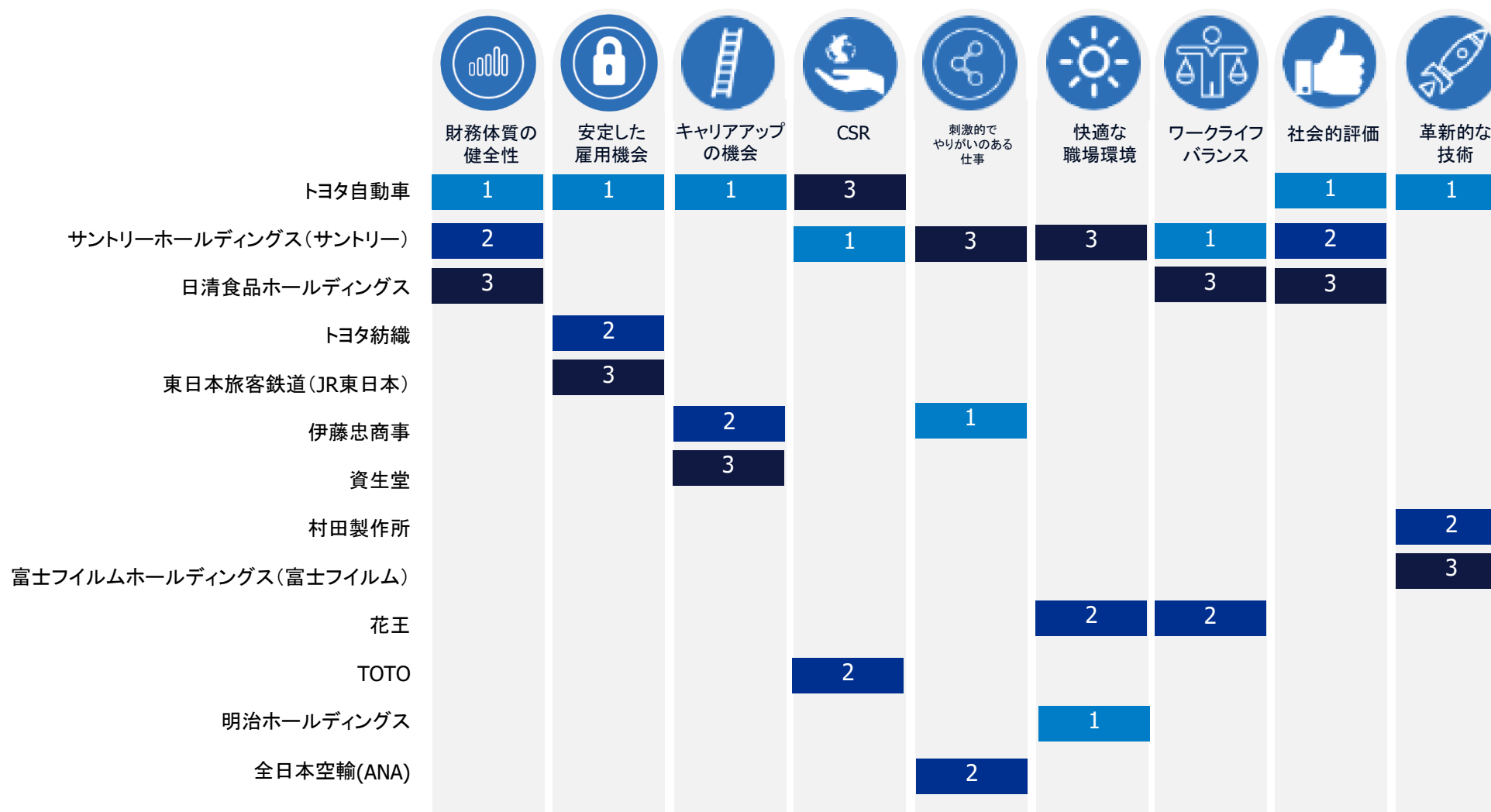
1. サントリーホールディングス(サントリー)
2. キリンホールディングス(キリン)
3. 明治ホールディングス(Meiji)
4. トヨタ自動車(トヨタ)
5. パナソニック
6. 花王
7. 日清食品ホールディングス(日清食品)
8. 全日本空輸(ANA)
9. アサヒグループホールディングス(アサヒ)
10. キヤノン

11. 花王
12. 全日本空輸(ANA)
13. 村田製作所
14. オムロン
15. 日本電信電話(NTT)
16. 資生堂
17. 本田技研工業(ホンダ<HONDA>)
18. ニコン
19. 東日本旅客鉄道(JR東日本)
20. 富士フイルムホールディングス(富士フイルム)

本ランキングは、回答者が「知っている」と回答した企業に対し、「(ぜひ)働いてみたい」と回答した方の割合が多い順に算出をしています。

指標別トップ企業 上位3位

*日系企業180社の上位企業を掲載



日本の働き手が魅力的に感じている注目企業たち

2017年 注目企業 top10



評価されている指標

Google Japan(グーグル)

1. 革新的な技術を活用している
2. 社会的評価が高い
3. 刺激的でやりがいのある仕事がある

楽天

1. 社会的評価が高い
2. 刺激的でやりがいのある仕事がある
3. キャリアアップの機会がある

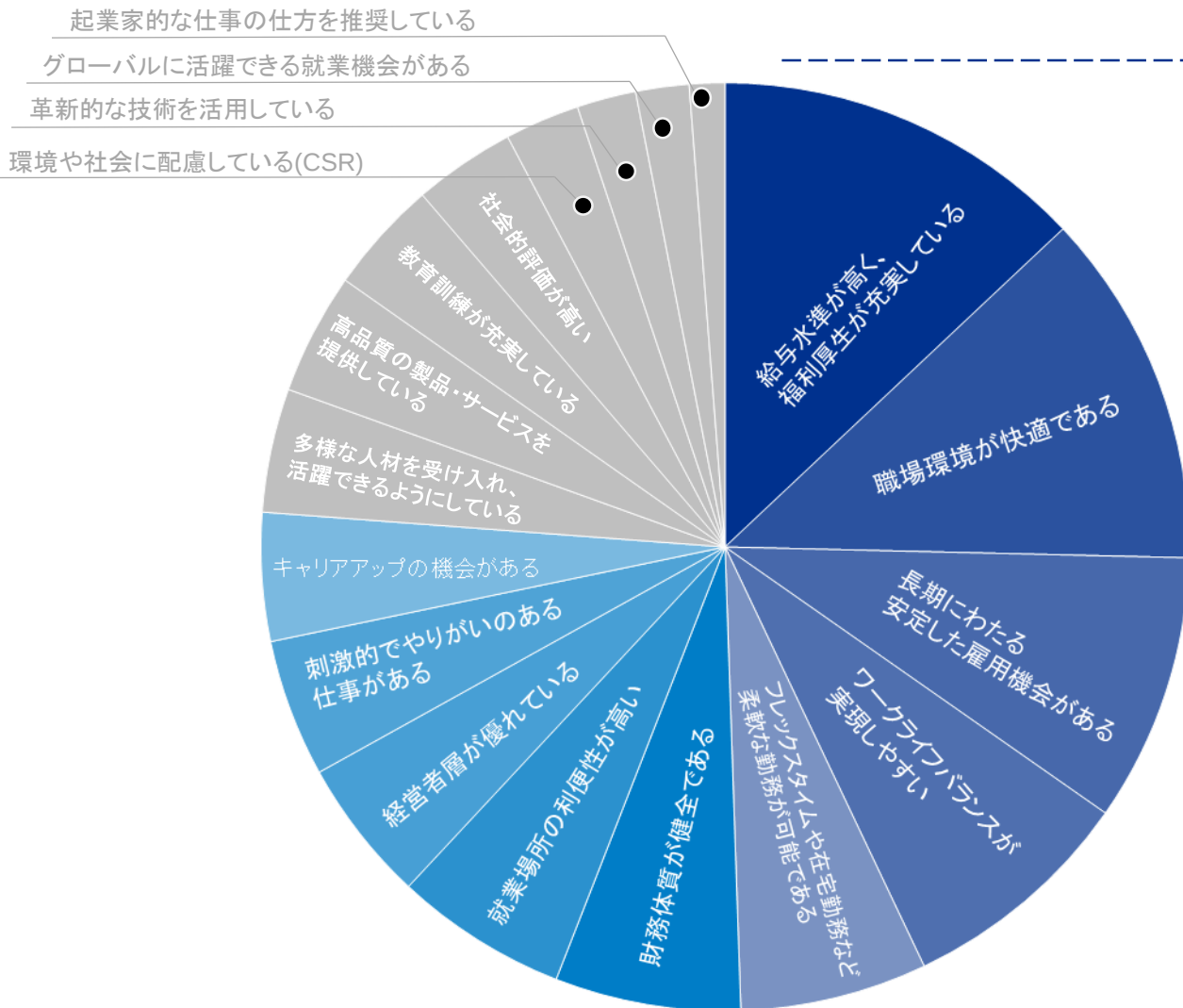
Apple Japan

1. 革新的な技術を活用している
2. 社会的評価が高い
3. 刺激的でやりがいのある仕事がある

注目企業とは:

国内の従業員人数は調査対象企業の基準に満たないが、革新的な技術やサービスで社会に新たな価値を提供する企業としてランスタッドが選出した企業

勤務先企業を選ぶ際に重視する項目 日本の働く人が求める理想の勤務先とは？



働き手にとって理想の企業は、左に掲げられたEVP(Employee Value Proposition: 雇用主が働き手に提供する価値)を労働者に提供し続けています。青色で示されているのは、日本の働く人がより重要視している項目です。

こうしたEVPを強化することがエンプロイヤーブランドを高めることになります。各社は、左の表に掲げられた要素について積極的に発信を行ったり、改善をすすめることが求められます。

日本の働き手が期待する価値と、雇用主が提供する価値(EVP)のギャップ

こうしたギャップを知ることは、御社のEVPを強めるうえで効果的です

よりギャップの目立つ3項目に注目してみましょう

Gap #1

職場環境が快適である

日本の労働者は勤務先を選ぶ上で職場環境の快適さを最も重要視すると回答しました。しかし、日本の企業の多くは、職場環境の快適さを十分に提供できていない、もしくはその魅力を伝えられていないようです。

Gap #2

長期にわたる安定した雇用機会がある

日本の労働者は安定した雇用機会を企業に求めています。しかし、日本の企業の多くは別の項目でより評価を受けている傾向が見受けられました。

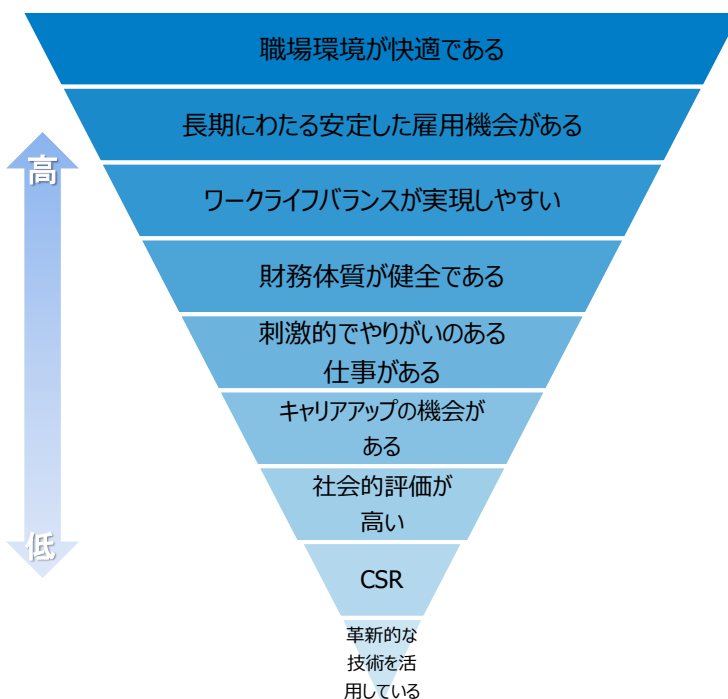
Gap #3

ワークライフバランスが実現しやすい

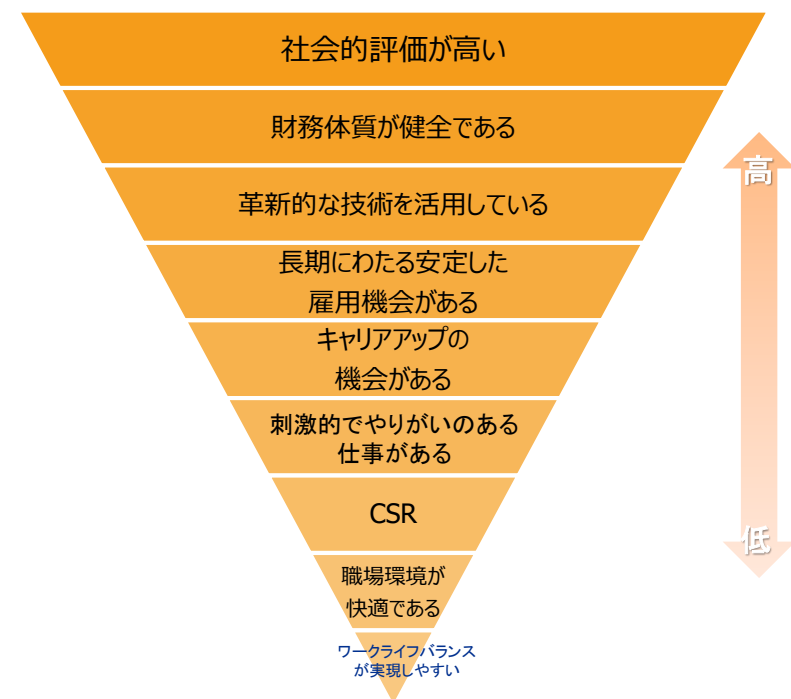
日本の労働者はワークライフバランスの実現を推奨している企業に魅力を感じています。しかし、日本の企業の多くはワークライフバランスの実現を推奨しているという評価を受けていないようです。

働き手が期待する価値と、雇用主が提供する価値(EVP)のギャップ
雇用主のEVP強化におけるチャンス

日本の労働者が重要視するのは

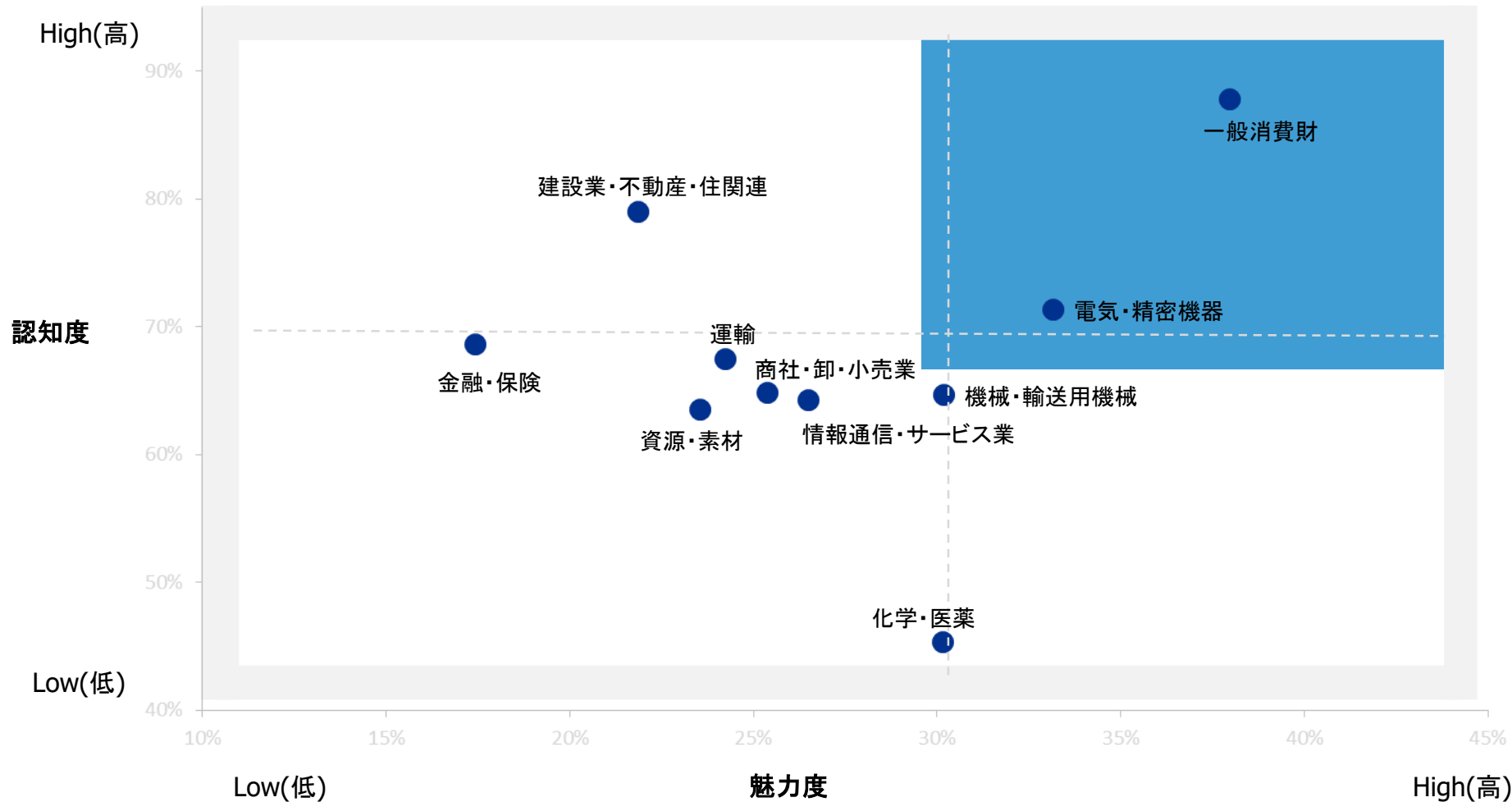


日本の雇用主が提供していると考えられている価値



業界エンプロイヤーブランドと企業名認知度の関連性

多くの人に最も知られていて、働きたいと思われている業界はどこでしょうか



高い認知度は、広く一般に認知されている企業がより多く業界に属していることを示します。

高い魅力度は多くの人が働きたいと思う企業がより多く所属していることを示します。

各業界について最も評価された指標 それぞれの業界でどの指標が高く評価されたのか、上位3項目を確認しましょう

業 界 魅 力 度 ↑ ↓ 低	業 界 名	Top 3 EVP drivers		
		1	2	3
	1. 一般消費財	社会的評価が高い	財務体質が健全である	長期にわたる安定した雇用機会がある
	2. 電気・精密機器	革新的な技術を活用している	社会的評価が高い	財務体質が健全である
	3. 機械・輸送用機械	社会的評価が高い	革新的な技術を活用している	長期にわたる安定した雇用機会がある
	4. 化学・医薬	社会的評価が高い	財務体質が健全である	革新的な技術を活用している
	5. 情報通信・サービス業	社会的評価が高い	革新的な技術を活用している	財務体質が健全である
	6. 商社・卸・小売業	社会的評価が高い	財務体質が健全である	キャリアアップの機会がある
	7. 運輸	社会的評価が高い	長期にわたる安定した雇用機会がある	財務体質が健全である
	8. 資源・素材	長期にわたる安定した雇用機会がある	社会的評価が高い	財務体質が健全である
	9. 建設業・不動産・住関連	社会的評価が高い	財務体質が健全である	長期にわたる安定した雇用機会がある
	10. 金融・保険	社会的評価が高い	財務体質が健全である	キャリアアップの機会がある

指標別ごとの業界パフォーマンス

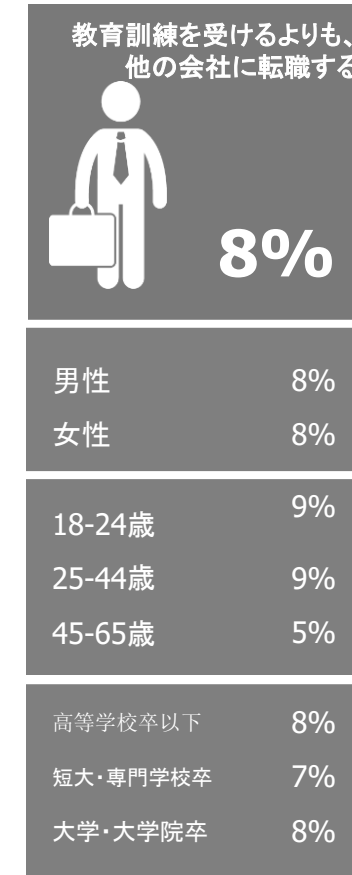
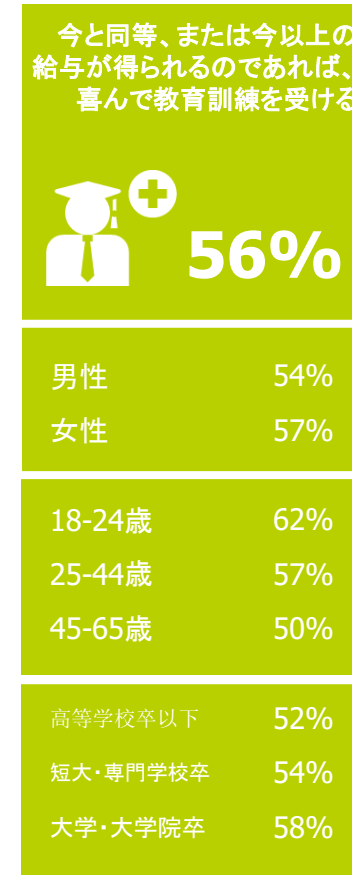
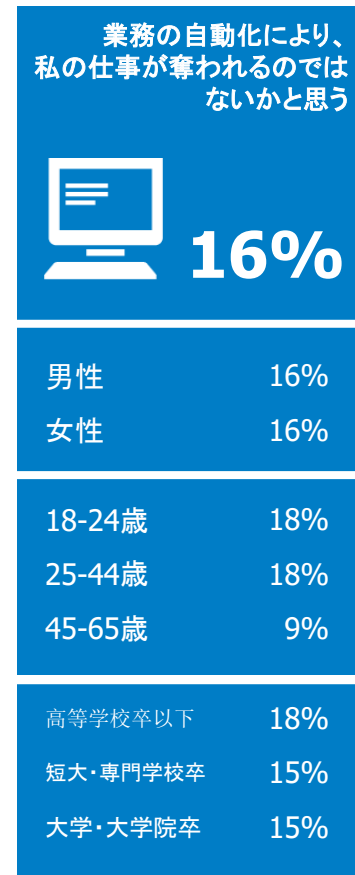
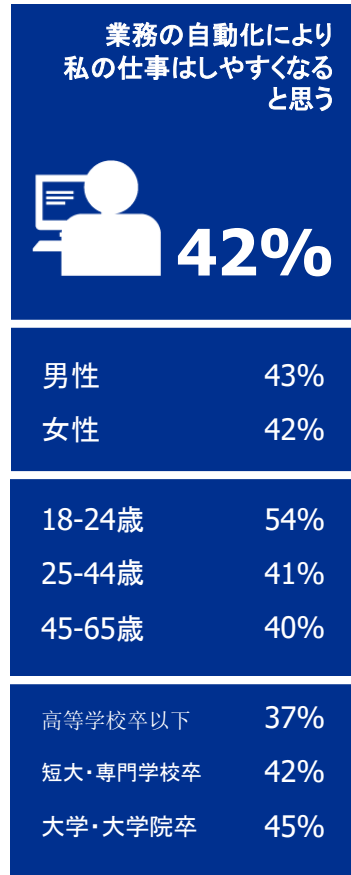
各指標において最も高く評価された業界と、低い評価を得た業界を確認しましょう

	最高評価	平均	最低評価
職場環境が快適である	一般消費財	情報通信・サービス業	運輸
長年にわたる安定した雇用機会がある	一般消費財	運輸	情報通信・サービス業
ワークライフバランスが実現しやすい	一般消費財	資源・素材	運輸
財務体質が健全である	一般消費財	建設業・不動産・住関連	資源・素材
刺激的でやりがいのある仕事がある	一般消費財	電気・精密機器	資源・素材
キャリアアップの機会がある	化学・医薬	電気・精密機器	資源・素材
社会的評価が高い	一般消費財	建設業・不動産・住関連	資源・素材
CSR	一般消費財	建設業・不動産・住関連	金融・保険
革新的な技術を活用している	電気・精密機器	一般消費財	金融・保険

業務の自動化や、伴う教育訓練に対する働き手の意識

日本の労働者は業務の自動化についてどう捉えているのでしょうか

教育訓練の受講に対し、前向きなのでしょうか



該当回答者数
n=4262

n=2402

n=1860

n=421

n=2832

n=1009

n=1072

n=1040

n=2128

人材不足と言われる職種について

情報通信技術職や営業職の人材は、採用が難しいといわれています。
他の職種と比較し、彼らの採用戦略はどう違うのでしょうか。



企業の評判を調べるのに
最も使われるツール

	全職種	情報通信技術職	営業職
インターネットの情報	1	1	1
その企業のウェブサイト	2	2	3
実際の店などを見て	3	3	2



企業の社会評価や評判と
仕事内容どちらが大切か

	全職種	情報通信技術職	営業職
社会評価や評判	12%	12%	9%
仕事内容	88%	88%	91%

人材不足と言われる職種について

情報通信技術職や営業職の人材は、採用が難しいといわれています。
他の職種と比較し、彼らの採用戦略はどう違うのでしょうか。



理想の企業に求める指標

	全職種	情報通信技術職	営業職
給与水準が高く、 福利厚生が充実している	1	1	2
職場環境が 快適である	2	2	1
長期にわたる 安定した雇用機会	3		3
ワークライフバランスが 実現しやすい	4	3	4
フレックスタイムや在宅勤務など 柔軟な勤務が可能である	5	4	5
財務体質が健全である		5	



好まれる企業タイプ(規模など)

	全職種	情報通信技術職	営業職
特にこだわりのない	1	2	1
大企業や外資系企業	2	1	2
非営利団体/政府機関 (公務員)	3		
中小企業		3	3

人材不足と言われる職種について

情報通信技術職や営業職の人材は、採用が難しいといわれています。
他の職種と比較し、彼らの採用戦略はどう違うのでしょうか。

現在携わっておられる業界から 他の業界に転職する可能性はありますか？

	情報通信技術職	全職種	営業職
Yes			
今の業界にこだわりはないので、 他の業界に転職する可能性がある	31%	33%	46%
現在の業界で仕事が見つからない場合は 他の業界に転職する可能性がある	25%	18%	17%
現在の業界と同程度の給与や 福利厚生が得られるのであれば、 他の業界に転職する可能性がある	31%	21%	19%
No			
自分のスキルは他の業種では 活かさないため、転職する可能性はない	12%	14%	9%
その他の理由で、 他の業界に転職する可能性はない	14%	20%	15%
該当回答者数	n=178	n=4262	n=248

業務の自動化に対する意見

	仕事がしやすくなる	仕事が奪われる	影響は受けない
情報通信技術職	53%	16%	16%
全職種	42%	16%	27%
営業職	43%	19%	21%

業務の自動化に伴う教育訓練に対する意見

	今と同等、またはそれ以上の 給与が得られるのであれば 喜んで受ける	教育訓練を受けるよりも、 他の会社に転職する	業務の自動化が 自分の仕事を 奪うとは思えない
情報通信技術職	59%	6%	27%
全職種	56%	8%	23%
営業職	62%	7%	19%

注目企業について

注目企業で働きたいと思うのは、どんなタイプの企業で働きたいと思う人たちなのでしょうか



勤務先を選ぶ際に重要視する項目: 属性別

性別、年齢、学歴の属性によって勤務先に求める指標はどう変わるのでしょうか

男性

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

女性

1. 職場環境が快適である
2. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

18-24歳

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. ワークライフバランスが実現しやすい

25-44歳

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

45-65歳

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

高等学校卒以下

1. 職場環境が快適である
2. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

短大・専門学校卒

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. 長期にわたる安定した雇用機会がある

大学・大学院卒

1. 給与水準が高く、福利厚生が充実している
2. 職場環境が快適である
3. ワークライフバランスが実現しやすい

調査概要

回答者	日本国内で任意に選出された18~65歳の男女(学生を含む・就業の有無は問わず)
合計回答者数	5,292名
調査機関	TNS(本社:イギリス)・JWT(本社:アメリカ)
調査期間	2016年11月18日~2016年12月30日
調査方法	オンラインアンケート調査(CAWI)
回答所要時間	平均15分
質問形式	ルーティング(経路指定)形式の標準アンケート
調査対象企業	<グローバル共通> エンプロイヤーブランド・リサーチ: 国内における従業員数上位の企業(日系180社) <日本独自のカテゴリー> ・海外企業部門: 国内における従業員数の外資系企業上位30社 ・注目企業部門: 国内従業員数は基準に満たないものの、革新的な技術やサービスで新たな価値を提供する、ランスタッド選出の企業10社

回答者はまず調査対象企業の中から自分が社名を知っている企業を選択。

次に、その選んだ企業に勤めたいかどうかを回答。

※企業名認知度が10%に満たない企業は参考値とする

$$\text{エンプロイヤーブランド} = \frac{\text{「あなたは、社名を知っているとした企業について働くことを希望しますか?」という問いに対し、5段階評価で「(ぜひ)働いてみたい」と答えた回答者合計}}{\text{「社名を知っている」と答えた回答者合計}}$$

質問項目

エンプロイヤーブランドリサーチ調査概要

- 01 あなたの理想の企業についてお伺いします。
理想的な会社に欠かせないと思う項目を、以下の中から5つ選んでください。
回答者は、18の選択肢の中から、重要であるとする上位5項目を選択

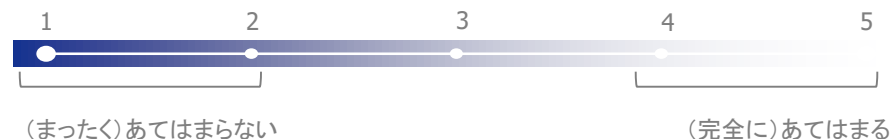
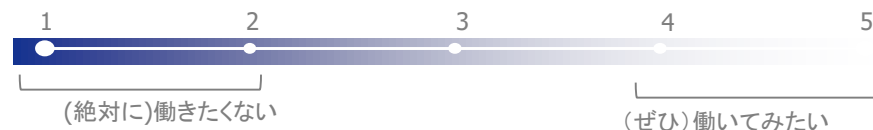
- 02 これまでに名前を聞いたことがある企業をすべてお選びください。
各回答者は、ランダムに表示された30社の調査対象企業の中から、自分が聞いたことのある/知っている企業を選択

- 03 あなたが希望すれば、それぞれの企業はあなたを採用すると仮定します。
あなたは、その企業で働くことを希望しますか？

- 04 それぞれの文章をお読みいただき、以下の会社を5段階評価で評価してください。

企業についてのあなたの印象をお聞かせください。その企業で実際に働いたことがなくても構いません。

財務体質が健全である
長期にわたる安定した雇用機会がある
キャリアアップの機会がある
環境や社会に配慮している(CSR)
刺激的でやりがいのある仕事がある
職場環境が快適である
ワークライフバランスが実現しやすい
社会的評価が高い
革新的な技術を活用している



回答者はまず、ランダムに表示された調査対象企業の中から、自分が知っている企業を選択

上記で選んだ企業について「この企業で働きたいと思いますか？」という問いに回答（働きたいという回答比率が最も高い企業がランスタッドアワードを受賞）

次に、エンプロイヤーブランド9項目について、各企業ごとに回答

集計結果、最もエンプロイヤーブランドが高い企業を表彰

質問項目

付随調査

01 現在携わっている業界から別の業界に転職する可能性がありますか？

- ・今の業界にこだわりはないので、他の業界に転職する可能性がある
- ・現在の業界で仕事が見つからない場合は、他の業界に転職する可能性がある
- ・現在の業界と同程度の給与や福利厚生が得られるのであれば、他の業界に転職する可能性がある
- ・自分のスキルは他の業種では活かせないため、転職する可能性はない
- ・その他の理由で、他の業界に転職する可能性はない
- ・わからない

02 今後5年間を考えたとき、コンピュータやロボットは、あなたの仕事にどのような影響を与えますか？

- ・仕事がしやすくなる
- ・仕事が奪われる
- ・影響は受けない
- ・わからない

03 あなたの仕事の一部、またはすべてがコンピュータやロボットによって担われるようになり、あなたが勤務先で仕事を続ける為には、教育訓練の受講が必要になるとします。あなたならどうしますか？

- ・今と同等または今以上の給与が得られるのであれば、喜んで教育訓練を受ける
- ・教育訓練を受けるよりも、他の会社に転職する
- ・コンピュータやロボットが自分の仕事を奪うとは思えない
- ・わからない

04 あなたが働いてみたいと思う企業があるとしたら、その企業の評判をどのような方法で調べますか？

選択回答リストから該当するものを複数選択

05 次のうち、あなたが働きたいと思う企業はどれですか？

- ・創業して間もない企業
- ・中小企業
- ・地元の家族経営企業
- ・大企業や外資系企業
- ・非営利団体/政府機関（公務員）
- ・自分で起業したい
- ・特にこだわりはない